

大巡思想の循環的経済観の価値

学術発表用スライド

大巡思想の循環的経済観を通じて現代の経済問題の解決方を模索する

陰陽合徳

Yin-Yang
Harmony

神人調化

God-Human
Harmony

解冤相生

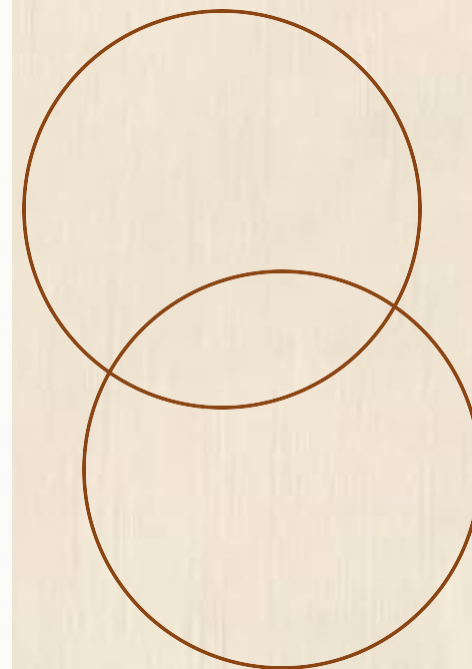
Mutual
Beneficence

道通真境

Unification with
Dao

目次

- 1 大巡思想の概念的理解
- 2 循環的経済観と現代の経済問題
- 3 陰陽合徳と経済動機の回復
- 4 神人調化と経済倫理の再生
- 5 解冤相生と経済理念の調和
- 6 道通真境と環境危機の克服
- 7 総合分析および示唆点
- 8 質疑応答



大巡思想の概念的理解

大巡思想は、甌山 姜一淳 聖師が提示した天地公事（天地公事）の真理を基盤に形成された思想体系であり、人間と社会、自然の調和的關係を追求し、後天開闢（後天開闢）を通じた地上天国の建設を目標とする。

陰陽合徳

陰と陽の調和的合一を通じた相生と調和を追求し、物質と精神、現実と理想の均衡をなす原理

神人調化

神（神）と人間の調和的關係を通じて、人間の神聖化と宇宙の秩序回復を追求する原理

解冤相生

すべての怨恨を解き、相生の道を通じて人間と万物が共に繁栄する理想社会を具現する原理

道通真境

人間が道（道）と一つになることで真の福祿を享受し、天地自然と調和をなす理想世界具現の原理

この四つの原理は互いに連結され循環体系をなし、大巡思想の循環的經濟觀を通じて、現代社会の經濟的問題に対する解決策を提示する。

循環的経済観と現代の経済問題

現代の資本主義と社会契約主義は人類に物質的豊かさをもたらしたが、循環的観点の不在により様々な限界に直面した。大巡思想の循環的経済観は、これらの問題に対する解決策を提示する。

経済動機の喪失

自由至上主義が招来した物質欲望の肥大化と精神的動機の弱化

陰陽合徳で回復

経済倫理の失踪

社会契約主義の限界による倫理的虚無主義と相対主義の蔓延

神人調化で再生

経済理念の不和

功利主義が招来した貧富格差、理念対立、成長停滞の問題

解冤相生で調和

環境危機

共同体主義の限界による自然と人間の断絶、生態系の持続不可能性

道通真境で克服

大巡思想の循環的経済観は、相生（相生）の原理を通じて現代の経済問題に接近する。単純な物質的交換ではなく、精神的・倫理的・生態的価値の循環を強調し、経済的問題を総体的観点から解決する。

陰陽合徳と経済動機の回復

陰陽合徳に基づく待対的自由至上主義の財富観

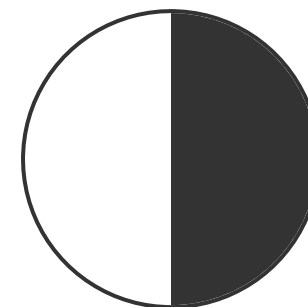
大巡の待対的自由至上主義は、市場の自由のみに偏った現代資本主義の経済動機喪失の問題を、循環の原理で解決しようとする。これは自由を拡大しつつ、水と火の位置を入れ替える陰陽合徳の原理を適用して、循環する経済システムを構築することである。

経済動機回復の主要原理

- 循環の力で対応：相克的自由至上主義が招来した精神的傷とギャンブル資本主義を、循環の原理で回復させる
- 物質より倫理を優先：「物有本末、事有終始...」根本である倫理道徳を先に厚くし、財物は後に薄くすべきである
- 順序の変換：「他人が与えてから返す」から「他人が与える前に先に与える」へと、順序一つだけを変えて実践

「我らの事業は、他人を善くさせる修養なり。他人が善くなり、残ったものだけを占めても成るなり...」

— 『典経 教訓1章2節』



待対的自由至上主義

倫理と物質の調和

本（本）
倫理・道徳

末（末）
財物・利益

経済動機回復の構造

他人を善くさせる

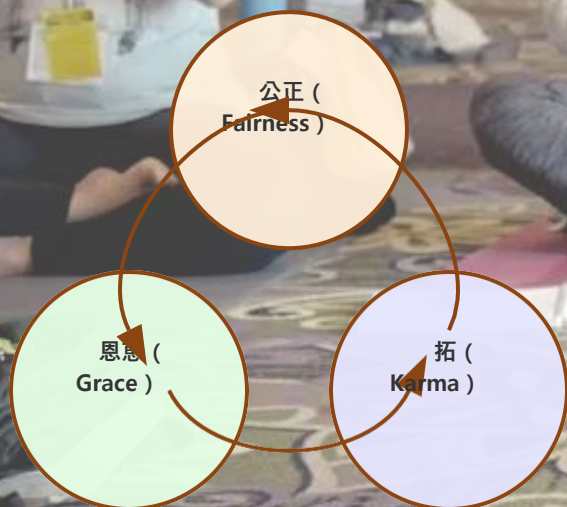


循環の原理



神人調化と経済倫理の再生

神人調化に基づく回帰的社会契約主義の分配観は、西洋の社会契約主義が招来した経済倫理の失踪の問題を、循環の原理を通じて回復させる代案的経済観である。



社会契約主義の倫理失踪の克服

社会契約主義は正義の実現を追求したが、循環性の不足によりかえって倫理的虚無主義を招来した。神人調化は循環の力で経済倫理を再生させる。

複雑系的分配観

大巡思想の回帰的分配観は、単純な入出構造ではなく、公正・恩恵・拓が相互循環する複雑系的ネットワークを形成する。「彼らは知らずとも彼らの神明は知る」という原理が作動する。

先に贈与する経済倫理

回帰的社会契約主義は「先に与えて受ける」循環的経済倫理を実践する。贈与したものは必ず別の形で返ってくるという信念を基盤に、能動的倫理実践を可能にする。

解冤相生と経済理念の調和

解冤相生に基づく中和的功利主義の労働観

解冤相生（解冤相生）は、すべての怨恨を解き、互いに相生することで均衡と調和をなす大巡思想の核心原理である。

功利主義の理念不和の循環的調和

資本主義と共産主義の対立を和合させ、階層間の葛藤を解消する循環的観点を提示する。

弱者への配慮と皆の相生の志向

競争のみではなく協同と配慮を通して、すべての経済主体が共に繁栄する理念的統合を追求する。

社会的調和と公益の実現

個人の利益と社会全体の利益が循環的に調和をなす経済パラダイムを提示する。



「他人に拓を作らず、相生の道へと導け」
『典経』解冤相生篇

道通真境と環境危機の克服

道通真境（道通真境）は、道（道）と一つになることで真の境地に至ることを意味する。大巡思想はこれを通じて自然と人間の循環的関係を回復し、現代社会の環境危機を克服する共同体主義的方策を提示する。

道通真境の環境的意味

-  自然と人間の循環的相生構造を通じた環境危機への対応 資源の共同管理
-  と循環を通じた生態系の持続可能性の確保 人間と自然の調和的関係の回復
-  復を通じた環境問題の解決

「天地と合一して調和をなす道通真境の理想は、現代の環境危機解決の核心原理となる」

現代社会への適用と示唆点

-  地域共同体中心の資源管理および循環経済システムの構築 自然の価値を尊重
-  重し回復する経済システムへの転換 共同体主義的協力を通じた環境問題の解決
-  解決方策の模索
-  経済発展と環境保存の均衡を追求する持続可能な発展

大巡思想の道通真境は、人間と自然が一つになる循環的調和を通じて、現代社会の環境危機を克服し、持続可能な未来を切り開くことのできる知恵を提供する。